BERTRAND PICCARD

- **Leader of Solar Impulse-2 Project**

LONDON SPEAKER BUREAU

Topics

- Adventure
- Aeronaut
- Creativity
- Environment
- Innovation

Bertrand　Piccardは、ソーラーインパクトプロジェクトの創始者兼社長です。Solar Impulse 2は2015年3月9日にAbu Dhabiから離陸し、記録破りの試みで東に向かった。太陽の飛行機による初めての海洋横断と日本からハワイへの記録的な飛翔の後、世界旅行の後半は今損傷したバッテリーのために2016年4月に遅れました。彼はパイロットの仕事を同僚のスイス人、アンドレ・ボルシュベルクと共有しました。

PiccardとBorschbergは、誰でも操縦席にいても、空中にいる間ずっと警戒しなければなりません。彼らは、最大20分の昼寝だけを許可されており、ちょうど3.8立方メートルの容積を測定するコックピットに閉じ込められているという物理的な不快感に耐えなければなりません - 公衆電話ボックスほど大きくはありません。

2012年に、ベルトランは世界初の太陽電池駆動の大陸間飛行を行い、モロッコに上陸しました。副操縦士のアンドレ・ボルシュベルクと一緒に、マドリッドからジブラルタル海峡を飛んでラバト空港に着陸しました。2,500kmの飛行は19時間以上続き、着陸のためにモロッコに特別なターミナルを設置しなければなりませんでした。飛行機 - スイスソーラーインパルス - はエアバスA340と同じくらい大きいですが、車より軽いです。日中は400kgのリチウムポリマー電池を充電し、電源が入っていても暗くなってから飛ぶことができます。

以前、2010年に彼の実験的な太陽エネルギーで動く航空機が初めて夜中飛行に成功した後、スイスに無事着陸しました。偉業は、太陽の力を使って地球を一周するという目的に向けた一歩です。航空機は太陽の光線が消えた後も空気中にとどまるために超高効率の太陽電池とバッテリーを使用しています。

探検家や科学者の王朝に生まれた、ベルトランは史上初のノンストップ世界一周気球飛行を行いました。彼は国際的に有名な精神科医、飛行士および講師、希望の風の慈善団体の会長、そして国連の親善大使です。彼はより良い生活の質を促進するために科学と冒険を兼ね備えています。

気球パイロットとして、彼はベルギーのWim Verstraetenで優勝した最初の大西洋横断気球レースの間に催眠術のテクニックを適用しました。その後、1999年3月に彼は「ブライトリングオービター」のノンストップ世界一周気球飛行プロジェクトに着手しました。イギリス人のブライアン・ジョーンズと共に、飛行史上最長の飛行時間を記録しました。この成功は彼を「サバンチュリエ」または科学者冒険家として舞台の前に映し出しました。

科学的探査、環境保護、より良い生活の質の追求を組み合わせた家族の伝統に従って。Bertrandは、再生可能エネルギーを促進するために、燃料や汚染物質の排出を伴わずに、太陽の航空機で世界中を飛び回るという考えを思いつきました。省エネを奨励する。 2003年に彼はAndréBorschbergと提携してSolar Impulseプロジェクトを正式に立ち上げ、革新的な航空機の製造を開始しました。 「21世紀の冒険は、現在および将来の世代に与えられている生活の質を向上させるために、人間の創造性と先駆的な精神を使用することにあります。」

info@londonspeakerbureau.my +603 2301 0988